

最終日、圧巻の9バーディー!!
岡山絵里とのプレーオフを制す!

吉田 優利

GOLF5 スポーツ

大会3日間 結果レポート

ラウンド毎の上位変遷

↓予選1R 9/3 Fri.

順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
1	-6	大里 桃子	66	33	33
2T	-5	脇元 華	67	35	32
		野澤 真央	67	34	33
		篠原まりあ	67	33	34
5T	-4	桑木 志帆	68	37	31
		イミニョン	68	34	34
		森岡 絢加	68	34	34
		サイベイン	68	35	33
		松田 鈴英	68	35	33
		木下 彩	68	36	32
		岡山 絵里	68	34	34
		新垣 比菜	68	33	35
		吉本ここね	68	37	31
15T	-3	植竹 希望	68	33	35
		吉田 優利	69	35	34
		穴井 詩	69	34	35
		小祝さくら	69	34	35
		吉川 桃	69	35	34
		ほか10名			

↓予選2R 9/4 Sat.

順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
1	-11	大里 桃子	67	32	35
2T	-10	吉本ここね	66	34	32
		新垣 比菜	66	34	32
4	-9	岡山 絵里	67	33	34
5T	-8	吉川 桃	67	32	36
		野澤 真央	69	33	35
7T	-7	吉田 優利	68	33	35
		濱田 菜優	68	33	35
9T	-6	勝 みなみ	64	33	31
		植竹 希望	70	35	35
		松田 鈴英	70	35	35
		イミニョン	70	34	36
		桑木 志帆	70	34	36
		木下 彩	70	35	35
		ほか5名			

↓決勝R 9/5 Sun.

順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
1	-14	吉田 優利	65	32	33
2		岡山 絵里	67	34	33
3T	-12	鶴岡 果恋	64	32	32
		穴井 詩	65	33	32
		植竹 希望	66	33	33
		新垣 比菜	70	37	33
7	-11	大里 桃子	72	36	36
8T	-10	サイベイン	68	33	35
		濱田 菜優	69	34	35
		吉本ここね	72	36	36
11T	-9	イミニョン	69	33	36
		松田 鈴英	69	36	33
		木村 彩子	69	34	35
		永峰 咲希	69	35	34
15T	-8	吉川 桃	72	38	34
		ほか5名			

● Today's Best

ツアー初Vから
わずか1ヶ月!
笑顔の大逆転

【吉田優利】千葉県出身21歳、プラチナカレッジの一人。日本ウェルネススポーツ大学在学中。'18年には日本女子アマと日本ジュニア選手権を制し、'19年プロテスト合格。'20年コロナ禍による開幕戦アースモンダミンでツアーデビュー28T。'21年KKT杯バンテリンドで初のTOP10、その15試合後の楽天スーパーレディスでツアー初優勝。昨年の本大会は予選落ち、前週のニトリレディスも予選落ちから、しかも初めてのプレーオフに勝ち2勝目。

プレーオフ

18H	1	2
吉田	-	-
岡山	-	PU



▲今季2勝目、ツアー3勝目に一歩届かず。優勝インタビューで吉田優利に「憧れのスイング」と告白された岡山絵里は、悔しきよりも収穫、自信になったと語った。

9月3日から3日間、第26回ゴルフ5レディスがゴルフ5カントリー四日市コースで開幕。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として無観客試合となった。

初日、雨が落ちる中、残念なハプニングがあった。稲見が6Hで左腕を何かの虫に刺され出血腫れが引かず、17Fで棄権、残念ながら女王レイス対決が水の泡となった。そんな中、7バーディー1ボギーの大里桃子が単独首位に立つ。1打差の2位には脇元華、野澤真央、篠原まりあ。また、ツアーデビュー戦となる桑木志帆が2打差に付け大物ぶりをみせた。

2日目、霧が濃い朝、またしても雨模様。この日は下から吉本ここねと吉川桃が首位に並びかければ、大里も巻き返して

新垣比菜も追いつくという目まぐるしい展開。しかし、大里の最終組が16番上で雷雲接近により中断、結局サスペンデッドとなり、残り12ホールは翌朝再開となる。迎えた最終日、17番で抜け出した大里が単独首位、1打差の2位タイの新垣と吉本が最終組となった。

運命の決勝ラウンド。この日話題をさらったのは最終組の11組も前を行く鶴岡果恋だった。12番まで6つ伸ばし1打差に肉薄すると13番でイーグルを奪い、一気に単独首位に。しかし、残り5ホールをパーとし3位タイに終わる。

その後、シワジワとバーディーを重ねる吉田優利が、そして穴井詩が、2打差スタートの岡山絵里が続け様に鶴岡に追いつき、今日8日目となるバーディーを16番で奪った穴井がついに単独首位に立つ。だが穴井は最終18番でラフに捕まり、あえなくボギー、鶴岡と同じく12アンダー止まり。

次に黄金世代・植竹希望が16・17番で連続バー

ディを奪い、トップと1打差に肉薄する。しかし、14番で穴井に追いついた吉田は、15・16番でも伸ばし2打差を付け突き放す。

ここから吉田の1組最後の岡山絵里が魅せる。16・17番で連続バーディーを奪い1打差に迫ったのだ。すると前を行く吉田は、3日間の最難度18番でボギーを叩き、勝負の行方は大会史上9度目となるプレーオフへと持ち越された。

18番のバーディーはこの日たったの2つ。つまり我慢比べが予想された。1H目は両者共にパー。2H目、岡山は右のラフからのセカンドをグリーン右に外す。対する吉田は確実に2オン。岡山は寄せきれない。吉田が先にパーを決め見つける先で、ただ一人3日間ノイボギーだった岡山は56H目にしてパーを逃し万事休す。吉田が見事大逆転でツアー2勝目を飾った。

今年も無観客となったが、昨年実施した練習場中継、選手インタビューに加え、本戦3日間の中継をライブ配信。きつとファンには大会の盛り上がりや伝わり、選手にとっては熱い声援が聞こえたことだろう。

こうして吉田の愛嬌あふれる笑顔と共に白熱の大会は幕を下ろした。

9月3日から3日間、第26回ゴルフ5レディスがゴルフ5カントリー四日市コースで開幕。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として無観客試合となった。

初日、雨が落ちる中、残念なハプニングがあった。稲見が6Hで左腕を何かの虫に刺され出血腫れが引かず、17Fで棄権、残念ながら女王レイス対決が水の泡となった。そんな中、7バーディー1ボギーの大里桃子が単独首位に立つ。1打差の2位には脇元華、野澤真央、篠原まりあ。また、ツアーデビュー戦となる桑木志帆が2打差に付け大物ぶりをみせた。

2日目、霧が濃い朝、またしても雨模様。この日は下から吉本ここねと吉川桃が首位に並びかければ、大里も巻き返して

GOLF5 LADIES TOURNAMENT
GOLF5カントリー 四日市コース
パー72 6,563Y
出場110名/予選通過68名
ギャラリー数 3日間計 0 (無観客試合)
天候: 1R 雨 / 2R 雨 / FR 曇り



▲初日・2日目の出遅れを最終日に爆発させた穴井詩。惜しくも自身2度目のホステスプロVならず。3日間平均ドライビングディスタンス257.5Yは2位勝みなみを10Y以上上回った。